

2023年3月31日

株式会社 四国銀行



## 芙蓉総合リース株式会社に対するシンジケーション方式 DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンへの参加について

株式会社四国銀行（頭取 山元文明）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役 地下誠二、以下「DBJ」）が組成した、芙蓉総合リース株式会社（代表取締役 織田寛明）に対する DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「DBJ-対話型 SLL」）に基づくシンジケートローンへ参加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は今後とも、お客さまの取組みを金融面からサポートし、企業の持続的な発展に貢献してまいります。

### 記

#### 1. DBJ-対話型 SLL の概要

DBJ が、借入人のサステナビリティ経営の高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター（以下、KPI）と、サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT）の設定を支援するとともに、貸付期間中の定期的な対話により、SPT の達成に向けた伴走支援を行う融資メニューです。

#### 【本件シンジケートローンの概要】

借入人	芙蓉総合リース株式会社
アレンジャー	DBJ
参加金融機関	当行、DBJ、肥後銀行、大垣共立銀行、荘内銀行、スルガ銀行、第四北越銀行 千葉興業銀行
KPI	芙蓉総合リース株式会社の子会社である株式会社 FGL サーキュラー・ネットワークの八王子テクニカルセンターにて荷受けされた返却物件由来の廃プラスチックのうち、株式会社 FGL サーキュラー・ネットワークの委託先によってマテリアルリサイクル又はケミカルリサイクルが実施された割合（kg ベース、以下「廃プラスチックリサイクル率」）
SPT	2025 年度における廃プラスチックリサイクル率を 80%以上とすること

#### 2. 借入人の取組み

芙蓉総合リース株式会社は、「2030 年に目指す姿」からバックキャストした重要課題として、「循環型社会実現への貢献」を掲げており、中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、サーキュラーエコノミー分野を成長ドライバーとして、経営資源を集中的に投下するトランスフォーメーションゾーンに位置付けています。

詳しくは、芙蓉総合リース株式会社のウェブサイトをご参照下さい。

[https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/self\\_evaluation\\_result.pdf](https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/self_evaluation_result.pdf)

以上